

実績報告書

届出者	住所	大阪市淀川区宮原4-2-1	氏名	メルパルク株式会社 ホテルメルパルク大阪総支配人 村上 浩之
特定事業者の主たる業種		75宿泊業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		ホテル業・・・婚礼・会議・宴会・宿泊・レストラン・ラウンジ・ホール		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間
2016年 4月 1日～ 2019年 3月 31日 (3年間)

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2015)年度	前年度(2017)年度
温室効果ガス総排出量	3,458 t-CO ₂	3,039 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	3,768 t-CO ₂	3,374 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018年度)	第1年度 (2016年度)	第2年度 (2017年度)	第3年度 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.5%	6.8%	12.2%
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0%	6.4%	10.5%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	()
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>2016年1台、2017年1台と吸収式冷温水発生機(ガス)をヒートポンプチラー(電気)に変更が終わり、ガスの使用量が大幅に削減された。電気の使用量増加を危惧していたが、現状では思ったほど増えていない。</p>

(2) 推進体制

外気温が高く、インバウンド関連での宿泊稼働率が非常に高い状況が続いてはいるが、設備担当者と空調温度設定、稼働時間等について細やかな日々の取り組みを実施。また、節電プロジェクトチームも機能しており、施設全体の削減に取り組む。